

2023/09/25 (月)

朝の礼拝

聖書 コリントの信徒への手紙Ⅱ 12章 9-10節 (新約聖書1063頁)

すると主は、「わたしの恵みはあなたに十分である。力は弱さの中でこそ十分に発揮されるのだ」と言われました。だから、キリストの力がわたしの内に宿るように、むしろ大いに喜んで自分の弱さを誇りましょう。それゆえ、わたしは弱さ、侮辱、窮乏、迫害、そして行き詰まりの状態にあっても、キリストのために満足しています。なぜなら、わたしは弱いときにこそ強いからです。

依存先を増やす

当たり前のことなのですが、誰もいつ、どこで生まれるかは自分で選べません。そして親も選べないし、育つ環境も選べず、親の影響が大きいです。でもやがて親から離れる時が来ます。友だちや先輩、後輩と泣いたり、笑ったりしてたくましく成長します。

でもたくましく成長するというのは頭が良くなる、身体が丈夫になる、強くなる、他人（ひと）にやさしくなる、自分で考える、他人と協力できることだけではありません。私もずっとそう思ってきたのですが、実はもう一つ大切なことに気づかされました。

それはある障害者の方の「自立」から考えさせられました。その方は「自立は依存先を増やすこと」と言っています。私には障害、不自由さはあるけど、弱さかもしれないけど、友だちに頼るのは甘えることとは違う。甘えるのは依存する、頼ることができないからだと言っています。

誰の人生にも前に進めない壁、障害があります。できない、一歩が出ない、わからない、ごめんね、いいよと言えない、不器用で、臆病で、恥ずかしい時に正直でいられる、頼れる、一緒にいてくれるから強くなれるのです。

(しばらく黙祷しましょう)

慈しみ深い主よ、あなたは「わたしの恵みはあなたに十分である。力は弱さの中でこそ十分に発揮されるのだ」と励ましてくださいました。先週はセント・マーガレットの姉妹たちが英和に来てくれました。遠く家を離れ、言葉も、食べ物も枕も違う生活をしました。でも学校では英和生たちが、夜やお休みには英和生のご家族が温かく迎えてくれました。他人に頼ること、依存することは決して甘えではありません。むしろひとをたくましく、強く成長させます。どうか素晴らしい体験をしたセント・マーガレットの姉妹、そして英和生たちを祝福してください。そして生きることに不器用になって、弱い時にも私たちを導き、あなたと共に強く歩ませてください。どうか今日一日もすべてをあなたに委ね、喜びと感謝のうちに過ごさせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン